

船舶事故調査報告書

平成28年9月29日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決
 委員 庄 司 邦 昭（部会長）
 委員 小須田 敏
 委員 根 本 美 奈

事故種類	火災
発生日時	平成28年4月8日 09時05分ごろ
発生場所	大分県国東市大分空港北東方沖 国東港田深沖防波堤東灯台から真方位107° 7.8海里（M）付近 （概位 北緯33° 32.0′ 東経131° 53.3′）
事故の概要	漁船明福丸は、えい網しながら北進中、火災が発生した。 明福丸は、操舵室等に焼損を生じた。
事故調査の経過	平成28年4月12日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 明福丸、4.99トン OT3-8528（漁船登録番号）、個人所有 10.80m（Lr）×2.74m×0.77m、FRP ディーゼル機関、漁船法馬力数15、昭和54年3月5日
乗組員等に関する情報	操縦者 男性 75歳 旧二級小型船舶操縦士 免許登録日 昭和51年7月9日 平成13年12月24日をもって失効していた。
死傷者等	なし
損傷	操舵室及び前部上甲板に焼損（全損）
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北北西、風力 2、視界 良好 海象：海上 平穏
事故の経過	本船は、操縦者が1人で乗り組み、大分空港北東方沖を約3ノットの対地速力でえい網しながら北進中、操縦者が船尾甲板の左舷側でネットローラを使用して引き綱の長さを調整していたところ、平成28年4月8日09時05分ごろ、ボンという音と共に機関室囲いに設置されていた窓ガラスが割れて黒煙が噴出した。 操縦者は、操舵室に入って無線で僚船に火災が発生した旨を連絡し、続いて同室内に置いてあった持運び式粉末消火器で消火を試みようとしたが、機関室からの黒煙と炎が操舵室内に入ってきて、慌てていたので同消火器を取り損ねて消火活動を行うことができず、風上の

	<p>船尾部に避難したのち、来援した僚船に救助された。</p> <p>本船は、来援した巡視艇による消火活動で鎮火したものの、船尾部を残して船体が水没した状態で、大分県杵築市守江港まで僚船によってえい航され、のちに陸揚げのうえ解撤処理された。</p> <p>(付図1 事故発生場所概略図、写真1 本船のえい航状況、写真2 本事故後の機関室状況(船首側から)、写真3 本事故後の主機焼損状況1(船首側から)、写真4 本事故後の主機焼損状況2(右舷側から) 参照)</p>
その他の事項	<p>本船は、船体中央部に操舵室が設けられ、その下方に機関室が配置されており、本事故後、操舵室が消失して機関室がむき出しの状態で陸揚げされた。</p> <p>船体の損傷状況は、操舵室前方の上甲板の焼損が激しかったものの、魚倉等の各区画内部及び操舵室後方に焼損はほとんどなかった。</p> <p>機関室の損傷状況は、主機の右舷側に設けられた給気管及び清水冷却器カバーの焼損が激しかったものの、主機の下部及び機関室後方に設置された燃料タンクに焼損はほとんどなかった。</p> <p>操縦者は、出港前に機関室内の点検を行ったが、燃料油及び潤滑油の漏えい、異臭等を認めなかった。</p> <p>本船は、平成27年6月ごろ主機のクランク軸が折損したが、それ以後、故障等の発生はなかった。</p>
分析 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象等の関与 判明した事項の解析	不明 不明 不明 <p>本船は、大分空港北東方沖をえい航しながら北進中、機関室から出火したものと考えられる。</p> <p>本船は、操縦者が出港前に機関室内の点検を行い、異常がないことを確認しており、また、焼損状況が激しいことから、出火に至った状況を明らかにすることはできなかった。</p> <p>操縦者は、小型船舶操縦免許証が失効していたことから、本船の操縦を行ってはならなかった。</p>
原因	<p>本事故は、本船が、大分空港北東方沖をえい航しながら北進中、機関室から出火したことにより発生したものと考えられる。</p>
参考	<p>今後の同種事故等の被害の軽減に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機関室には、天井等に船舶用自動拡散型粉末消火器を設置することが望まれる。

付図1 事故発生場所概略図

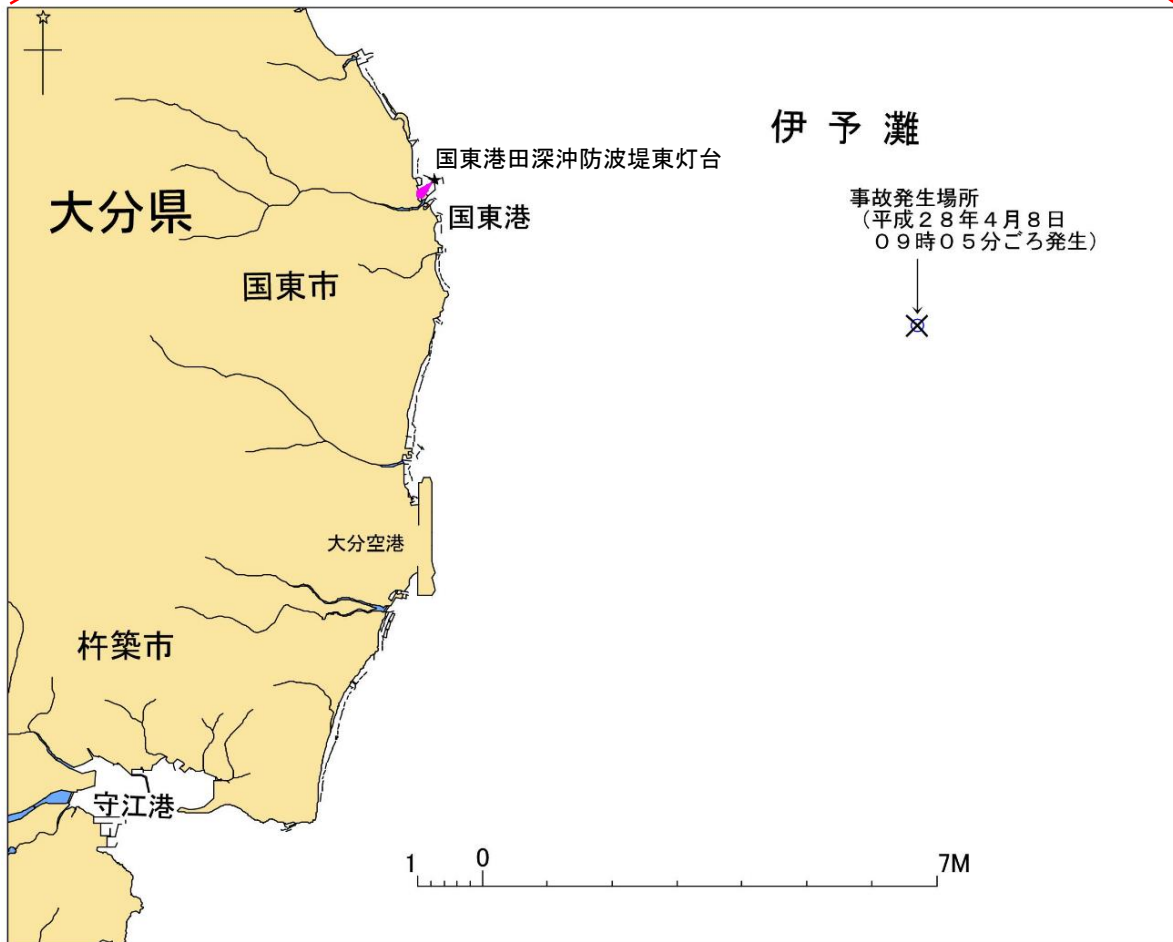
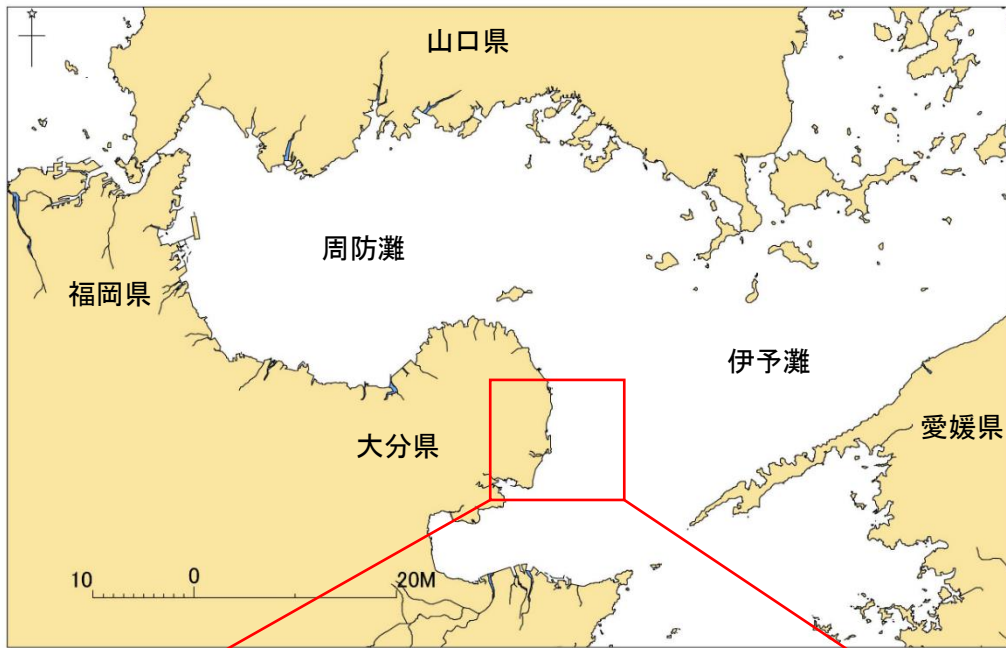
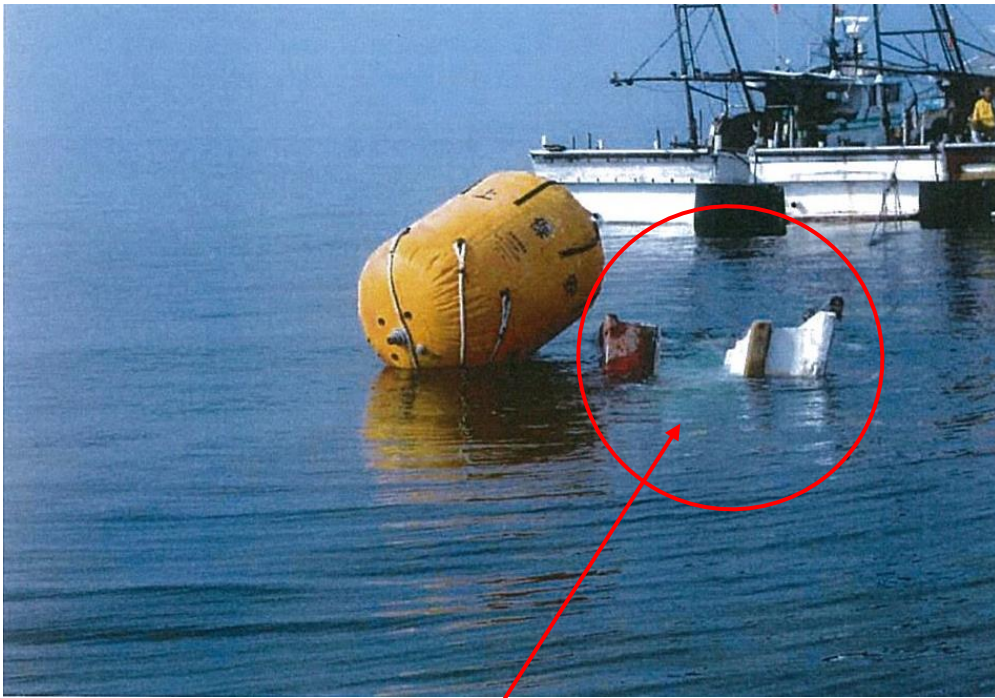


写真1 本船のえい航状況



船尾が浮いた状態の本船

写真2 本事故後の機関室状況（船首側から）



燃料油タンク

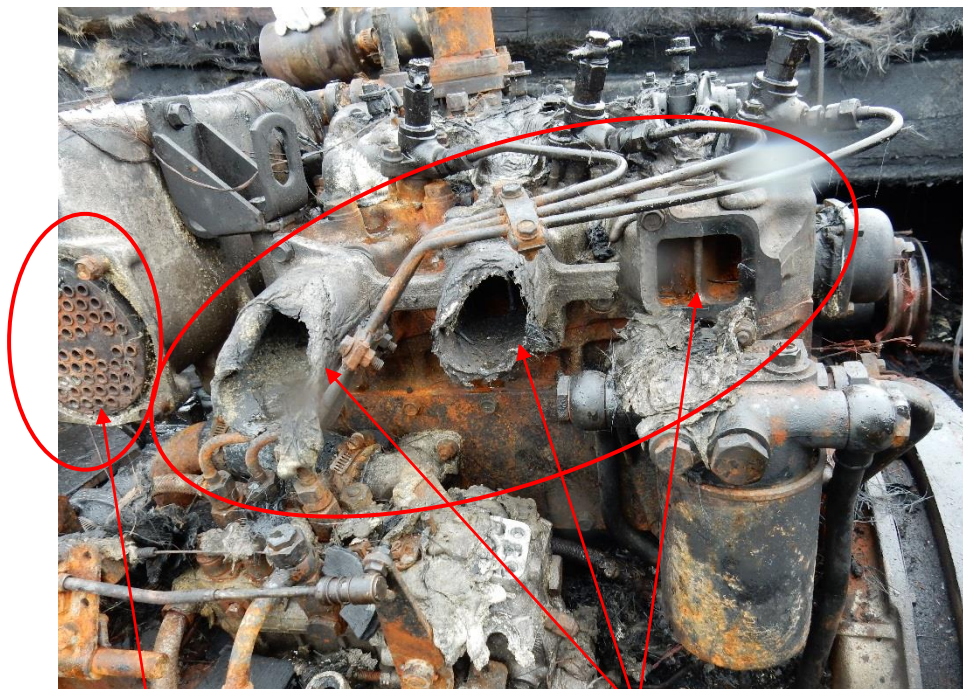
主機

排気管

写真3 本事故後の主機焼損状況1 (船首側から)



写真4 本事故後の主機焼損状況2 (右舷側から)



清水冷却器

吸気管

